

## 第3章

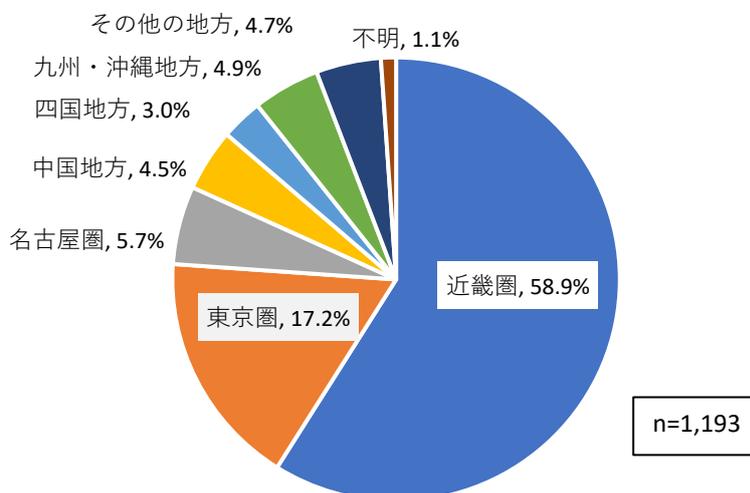
### 第9回大阪市人口移動要因調査の結果の概要

## 1 市内転入の状況

### (1) 居住地

#### ①-1 引越し前の居住地（圏域別）

引越し前の居住地を圏域別にみると、「近畿圏」が 58.9%と最も高く、次いで「東京圏」が 17.2%となっている。



	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)	第9回調査 (令和5年度)
総数	825	1159	1193
近畿圏	65.5%	62.7%	58.9%
東京圏	12.5%	13.2%	17.2%
名古屋圏	4.1%	4.1%	5.7%
中国地方	4.0%	4.5%	4.5%
四国地方	2.4%	2.7%	3.0%
九州・沖縄地方	4.4%	4.7%	4.9%
その他	7.2%	7.9%	4.7%
不明	0.0%	0.3%	1.1%

#### (参考)

近畿圏：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

東京圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

名古屋圏：岐阜県・愛知県・三重県

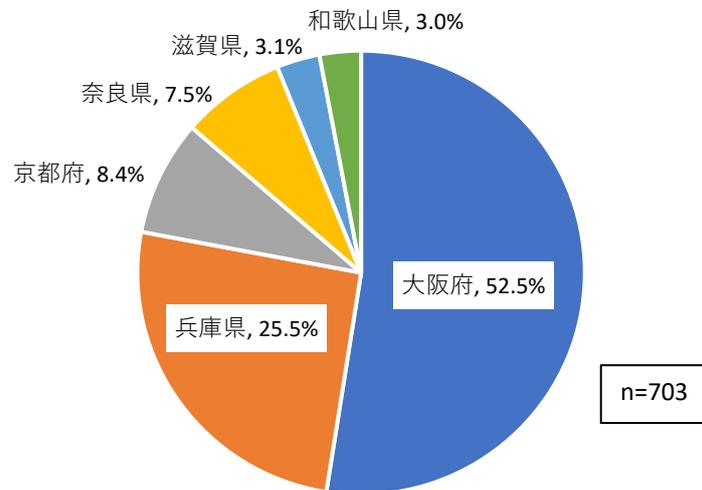
中国地方：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国地方：徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄地方：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

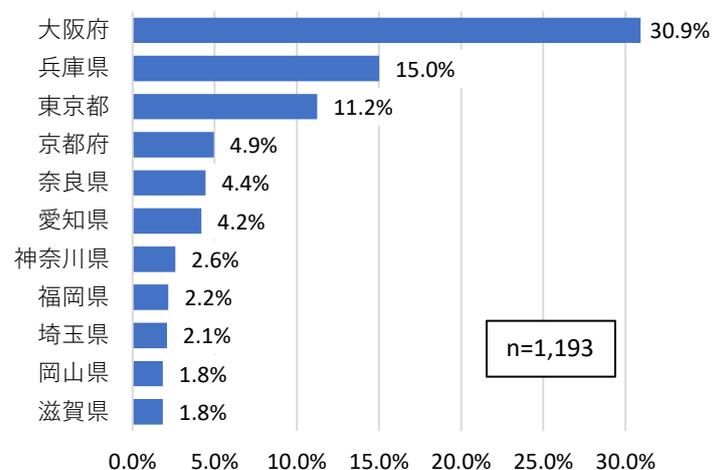
①-2 引越し前の居住地（近畿圏内）

引越し前の居住地における「近畿圏」の内訳をみると、「大阪府」が52.5%と最も高く、次いで「兵庫県」が25.5%となっている。



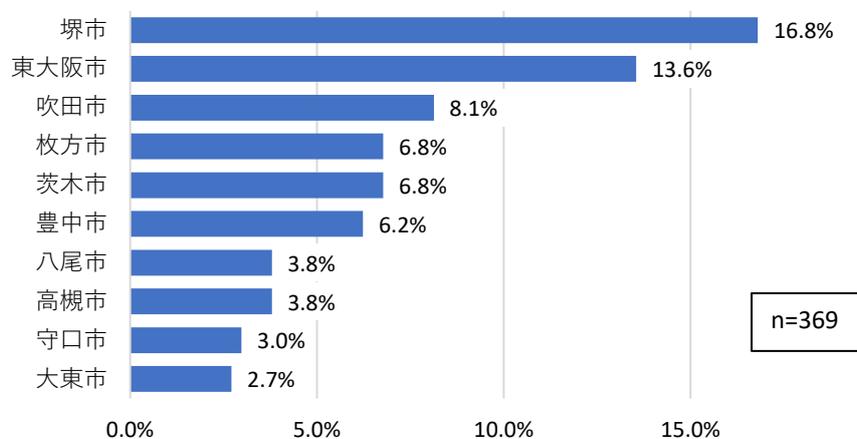
	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)	第9回調査 (令和5年度)
総数	540	727	703
大阪府	56.3%	58.0%	52.5%
兵庫県	19.3%	19.5%	25.5%
京都府	8.1%	9.9%	8.4%
奈良県	8.7%	6.9%	7.5%
滋賀県	3.0%	2.8%	3.1%
和歌山県	3.9%	2.9%	3.0%
不明	0.7%	0.0%	0.0%

(参考) 引越し前の居住地・上位10位までの11府県



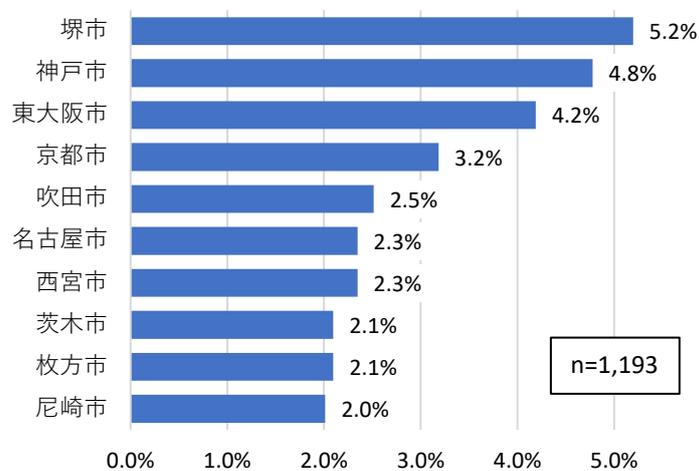
①-3 引越し前の居住地（大阪府内）

引越し前の居住地における「近畿圏」－「大阪府」の内訳（上位 10 市）をみると、「堺市」が 16.8%と最も高く、次いで「東大阪市」が 13.6%となっている。



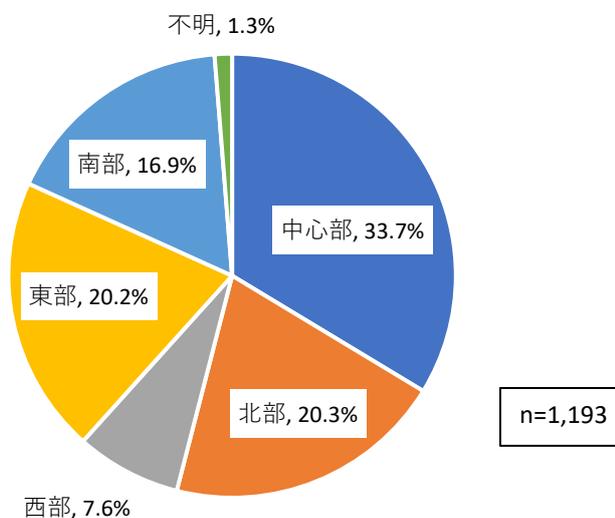
	第 7 回調査 (平成 25 年度)	第 8 回調査 (平成 30 年度)	第 9 回調査 (令和 5 年度)
総数	304	421	369
堺市	15.1%	16.4%	16.8%
東大阪市	9.2%	9.0%	13.6%
吹田市	9.5%	8.8%	8.1%
枚方市	6.9%	4.8%	6.8%
高槻市	5.9%	4.8%	6.8%
茨木市	5.6%	4.5%	6.2%
豊中市	5.3%	4.5%	6.2%
守口市	5.3%	4.3%	3.8%
八尾市	3.6%	4.3%	3.8%
寝屋川市	3.6%	4.0%	3.0%
枚方市	2.3%	3.6%	3.0%
大東市	2.3%	3.6%	2.7%
その他	32.9%	29.5%	28.5%

(参考) 引越し前の居住地・上位 10 市



② 引越し後の居住地（市内エリア別）

引越し後の居住地を市内エリア別にみると、「中心部」が 33.7%と最も高く、次いで「北部」が 20.3%となっている。



	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)	第9回調査 (令和5年度)
総数	825	1159	1193
中心部	34.5%	33.6%	33.7%
北部	18.8%	20.6%	20.3%
西部	7.6%	5.7%	7.6%
東部	19.8%	21.4%	20.2%
南部	19.3%	18.6%	16.9%
不明	0.0%	0.1%	1.3%

(参考)

中心部：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

北部：西淀川区・淀川区・東淀川区

西部：此花区・港区・大正区・住之江区

東部：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

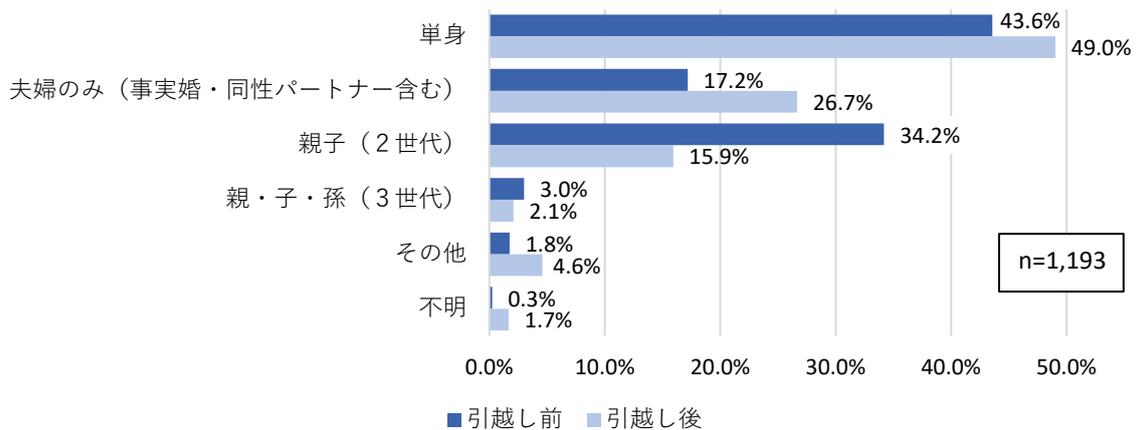
南部：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

## (2) 家族構成

引越し前後の家族構成を家族類型別にみると、引越し前後ともに「単身」が最も高くなっている。

前回・前々回調査と比較すると、引越し前後ともに「単身」は増加し、「親子（2世代）」は減少している。

引越し前後の家族構成の変化をみると、引越し前の「単身」の約7割が引越し後も「単身」であり、「夫婦のみ」の約8割が引越し後も「夫婦のみ」であるが、引越し前の「親子（2世代）」の約4割が引越し後に「単身」となっており、引越し前の「親・子・孫（3世代）」の5割が引越し後に「単身」となっている。



引越し前の家族構成

	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)	第9回調査 (令和5年度)
総数	825	1159	1193
単身世帯	30.8%	32.8%	43.6%
夫婦のみの世帯	13.3%	13.1%	17.2%
「夫婦と子ども」または「男親もしくは女親と子ども」から成る世帯	42.3%	40.7%	34.2%
三世代が同居している世帯	5.6%	5.0%	3.0%
その他の親族世帯（祖父母、孫、兄弟などの親族と同居）	4.7%	5.4%	1.8%
その他	1.8%	1.0%	0.3%
不明	1.5%	1.9%	0.3%

引越し後の家族構成

	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)	第9回調査 (令和5年度)
総数	825	1159	1193
単身世帯	37.0%	41.8%	49.0%
夫婦のみの世帯	25.1%	27.0%	26.7%
「夫婦と子ども」または「男親もしくは女親と子ども」から成る世帯	30.5%	24.2%	15.9%
三世代が同居している世帯	1.9%	1.5%	2.1%
その他の親族世帯（祖父母、孫、兄弟などの親族と同居）	3.0%	1.3%	4.6%
その他	1.8%	2.2%	1.7%
不明	0.6%	2.1%	1.7%

引越し前後の家族構成の変化

左：人  
右：%

		引越し前の家族構成											
		単身		夫婦のみ (事実婚・同性 パートナー含む)		親子 (2世代)		親・子・孫 (3世代)		その他		不明	
引 越 し 後 の 家 族 構 成	総数	520	100.0%	205	100.0%	408	100.0%	36	100.0%	21	100.0%	3	100.0%
	単身	<b>367</b>	<b>70.6%</b>	18	8.8%	<b>169</b>	<b>41.4%</b>	<b>18</b>	<b>50.0%</b>	13	61.9%	0	0.0%
	夫婦のみ(事実婚・同性 パートナー含む)	77	14.8%	<b>166</b>	<b>81.0%</b>	68	16.7%	5	13.9%	2	9.5%	0	0.0%
	親子(2世代)	37	7.1%	14	6.8%	134	32.8%	3	8.3%	2	9.5%	0	0.0%
	親・子・孫(3世代)	8	1.5%	1	0.5%	9	2.2%	7	19.4%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	24	4.6%	2	1.0%	23	5.6%	3	8.3%	3	14.3%	0	0.0%
	不明	7	1.3%	4	2.0%	5	1.2%	0	0.0%	1	4.8%	3	100.0%

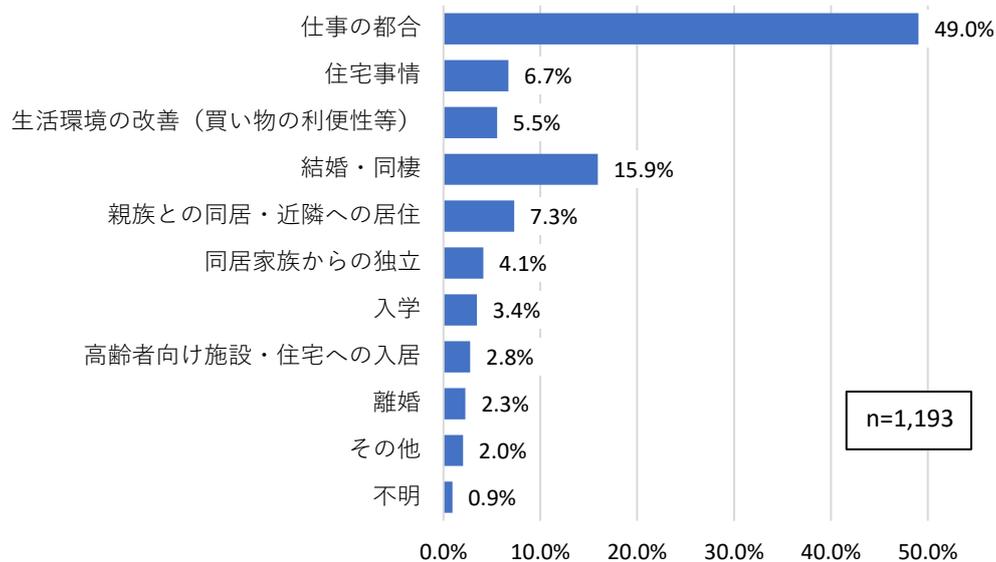
n=1,193

### (3) 引越しのきっかけ

#### ① 引越しのきっかけ

引越しのきっかけは、「仕事の都合」が49.0%と最も高く、次いで「結婚・同棲」が15.9%となっている。

前回・前々回調査と比較すると、「仕事の都合」が約10ポイント増加し、「生活環境の改善（買い物の利便性等）」が減少している。

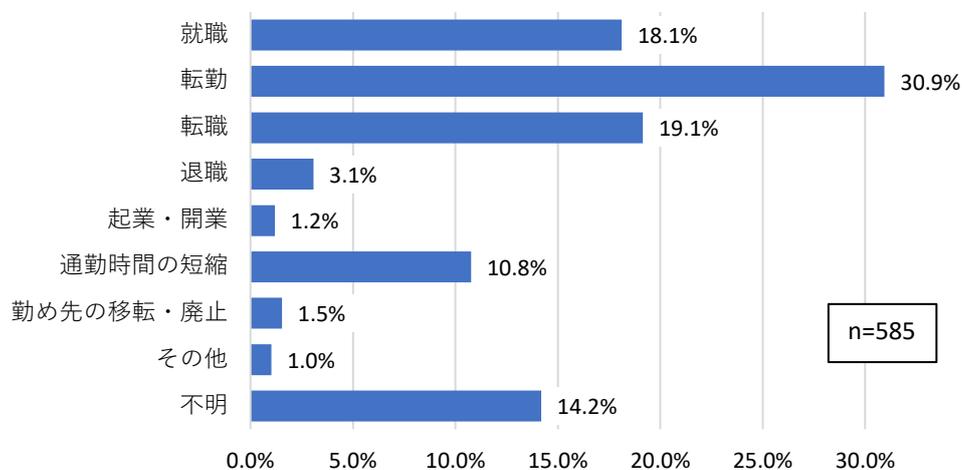


	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)
総数	825	1159
仕事の都合（就職、転勤など）	35.2%	38.3%
住宅事情のため	8.7%	7.4%
生活環境の利便性（職住近接など）	11.6%	13.0%
結婚のため	17.6%	19.2%
親や子どもと同居するため	3.6%	3.5%
親や子どもと近くに住むため	4.8%	4.5%
親や子どもと別居するため	1.9%	2.2%
入学・進学など学校のため	4.7%	3.0%
高齢者福祉施設や高齢者向け住宅などへの入居のため	1.5%	1.3%
離婚のため	2.1%	2.4%
その他	6.3%	4.7%
不明	1.9%	0.4%

	第9回調査 (令和5年度)
総数	1193
仕事の都合	49.0%
住宅事情	6.7%
生活環境の改善（買い物の利便性等）	5.5%
結婚・同棲	15.9%
親族との同居・近隣への居住	7.3%
同居家族からの独立	4.1%
入学	3.4%
高齢者向け施設・住宅への入居	2.8%
離婚	2.3%
その他	2.0%
不明	0.9%

②「仕事の都合」の詳細

引越しのきっかけにおける「仕事の都合」の内訳をみると、「転勤」が30.9%と最も高く、次いで「転職」が19.1%となっている。

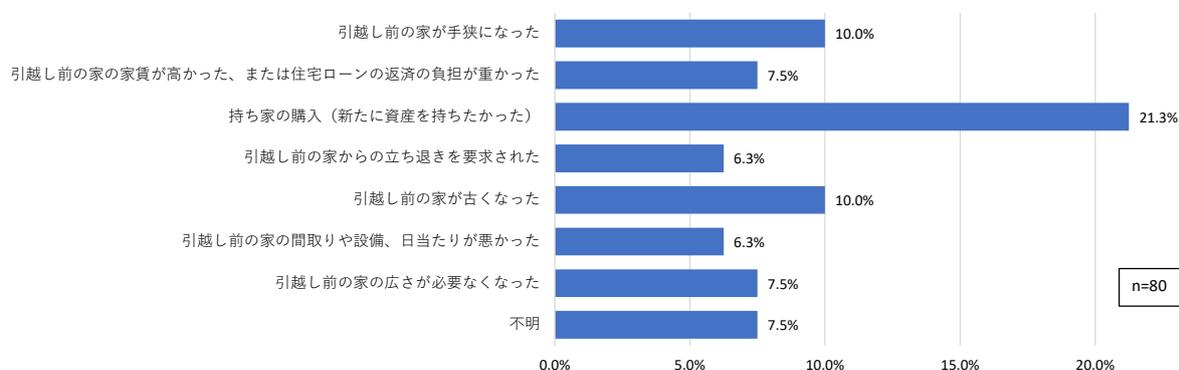


	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)
総数	290	444
就職	17.9%	20.0%
転勤	50.0%	52.0%
転職	18.3%	19.8%
退職	3.4%	2.3%
起業・開業	2.1%	1.6%
勤め先自体の移 転もしくは廃止	3.4%	1.4%
その他	3.8%	2.3%
不明	1.0%	0.7%

	第9回調査 (令和5年度)
総数	585
就職	18.1%
転勤	30.9%
転職	19.1%
退職	3.1%
起業・開業	1.1%
勤め先の移転・ 廃止	1.5%
通勤時間の短縮	10.8%
その他	1.0%
不明	14.2%

### ③ 「住宅事情」の詳細

引越しのきっかけにおける「住宅事情」の内訳をみると、「その他」を除くと、「持ち家の購入」が21.3%と最も高く、次いで「引越し前の家が手狭になった」「引越し前の家が古くなった」が10.0%となっている。「その他」には以前より保有していた持ち家への引越し、空き家となった親族の家への引越し等が挙げられている。



注：グラフでは「その他」を除いているが、構成比は「その他」を含めて算出している。

	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)
総数	91	118
手狭になった	18.7%	14.4%
家賃が高かった	9.9%	11.9%
住宅ローンの返済の負担が重かった	0.0%	2.5%
資産を持ちたかった	19.8%	12.7%
立ち退きを要求された	4.4%	11.0%
古くなった	6.6%	10.2%
間取りや設備、日当たりなどが悪かった	4.4%	8.5%
従前の広さがなくなった	12.1%	5.9%
バリアフリー対応の住宅に住む必要性が生じた	3.3%	1.7%
駐車スペースがなかった	0.0%	0.0%
その他	19.8%	21.2%
不明	1.1%	0.0%

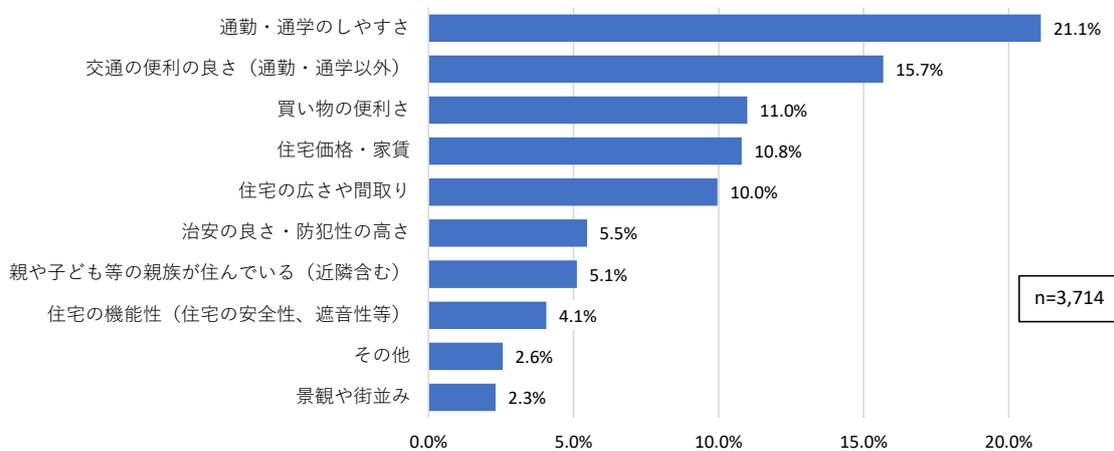
	第9回調査 (令和5年度)
総数	80
引越し前の家が手狭になった	10.0%
引越し前の家の家賃が高かった、または住宅ローンの返済の負担が重かった	7.5%
持ち家の購入（新たに資産を持ちたかった）	21.3%
引越し前の家からの立ち退きを要求された	6.3%
引越し前の家が古くなった	10.0%
引越し前の家の間取りや設備、日当たりが悪かった	6.3%
引越し前の家の広さがなくなった	7.5%
その他	23.8%
不明	7.5%

注：平成25年度及び平成30年度は複数回答可

#### (4) 引越し先を選んだ決め手となった条件

##### ① 引越し先を選んだ決め手となった条件

引越し先を選んだ決め手となった条件（上位 10 項目）をみると、「通勤・通学のしやすさ」が 21.1%と最も高く、次いで「交通の便利の良さ（通勤・通学以外）」が 15.7%となっている。

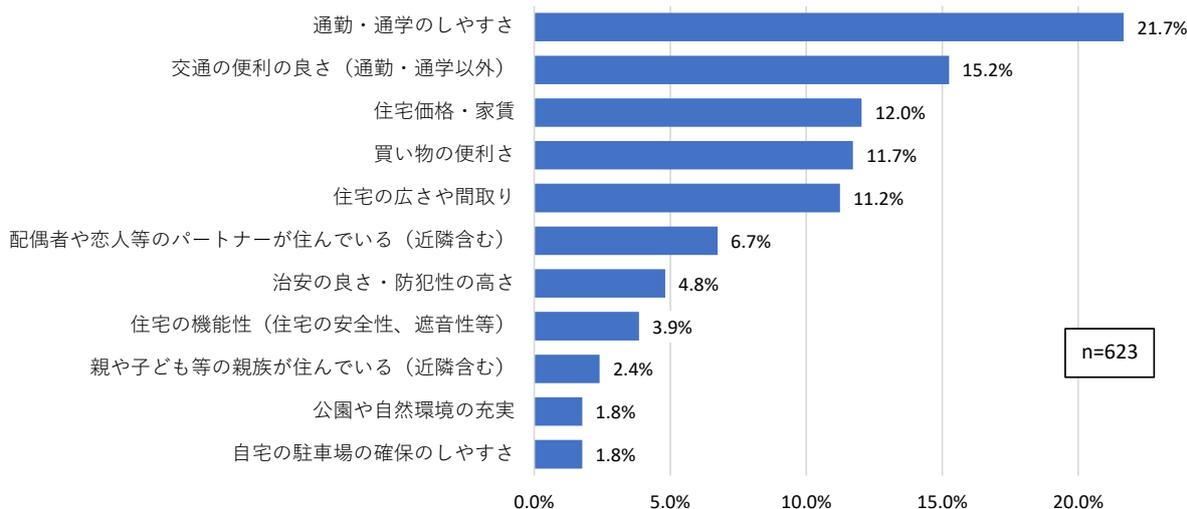


注：複数回答可

※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

##### ② 「結婚・同棲」をきっかけに転入した人の引越し先を選んだ決め手となった条件

引越しのきっかけを「結婚・同棲」と回答した人の引越し先を選んだ決め手となった条件（上位 10 位までの 11 項目）をみると、「通勤・通学のしやすさ」が 21.7%と最も高く、次いで「交通の便利の良さ（通勤・通以外学）」が 15.2%となっている。

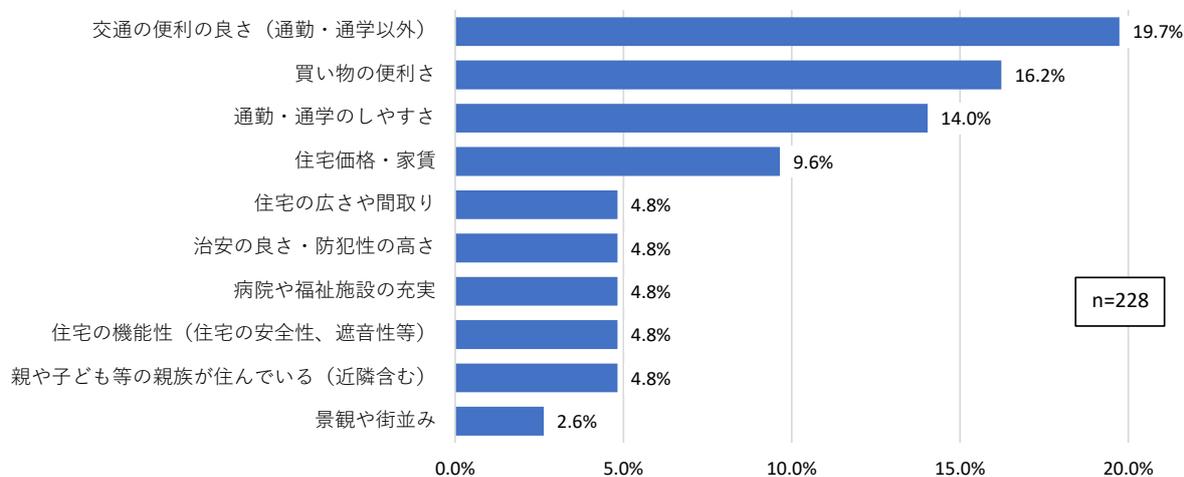


注：複数回答可

※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

③「生活環境の改善」をきっかけに転入した人の引越し先を選んだ決め手となった条件

引越しのきっかけを「生活環境の改善」と回答した人の引越し先を選んだ決め手となった条件（上位10項目）をみると、「交通の便利の良さ（通勤・通以外学）」「買い物の便利さ」「通勤・通学のしやすさ」「住宅価格・家賃」の上位4項目が約6割を占めている。



注：複数回答可

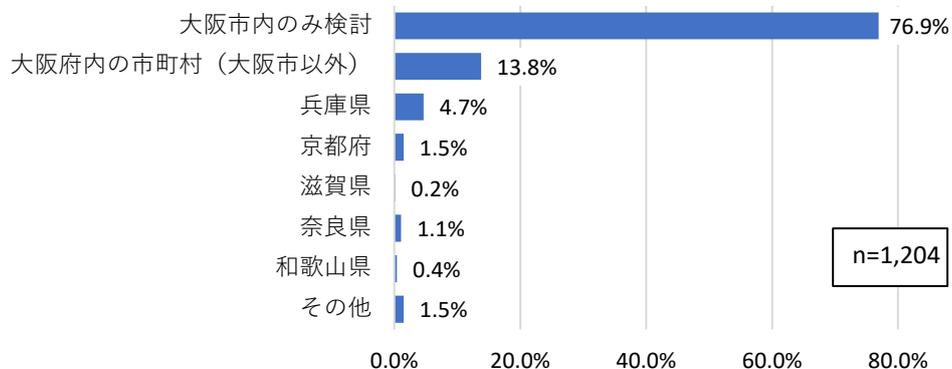
	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)
総数	187	301
日常の買い物が便利である	28.3%	26.9%
通勤が便利である	34.8%	37.5%
医療施設や文化・スポーツ施設などが整っている	8.0%	6.3%
まちの防犯性が高い	1.6%	2.3%
高齢者や障がいのある人に対する福祉サービスが整っている	0.5%	1.0%
まちのバリアフリー化が進んでいる	0.5%	0.3%
緑や公園などの充実	4.3%	4.7%
近所付き合いがわずらわしくない（自治会、子ども会など）	3.7%	6.6%
保育サービス、子どもの遊び場などの育児環境が整っている	1.6%	3.0%
自然災害や火災などの危険性が少ない	2.1%	2.0%
大気汚染、騒音・振動などの公害問題がない	1.1%	1.7%
交通事故の危険性が少ない	1.1%	0.7%
その他	5.9%	6.0%
不明	6.4%	1.0%

	第9回調査 (令和5年度)
総数	228
買い物の便利さ	16.2%
通勤・通学のしやすさ	14.0%
病院や福祉施設の充実	4.8%
文化施設・スポーツ施設の充実	1.3%
治安の良さ・防犯性の高さ	4.8%
高齢者や障がい者等に対する福祉サービスの充実	2.2%
住宅や周辺地域のバリアフリー	1.8%
公園や自然環境の充実	1.3%
近所付き合いがわずらわしくない（自治会、子ども会など）	1.3%
子育て支援サービス・施設や補助制度の充実	0.9%
防災面における安全性	0.4%
大気汚染や騒音等の生活環境	0.0%
交通環境における安全性	0.0%
その他	50.9%

## (5) 居住を検討した地域

### ① 居住を検討した地域

居住を検討した地域をみると、「大阪市内のみ検討」が76.9%と最も高く、次いで「大阪府内の市町村（大阪市以外）」が13.8%となっている。

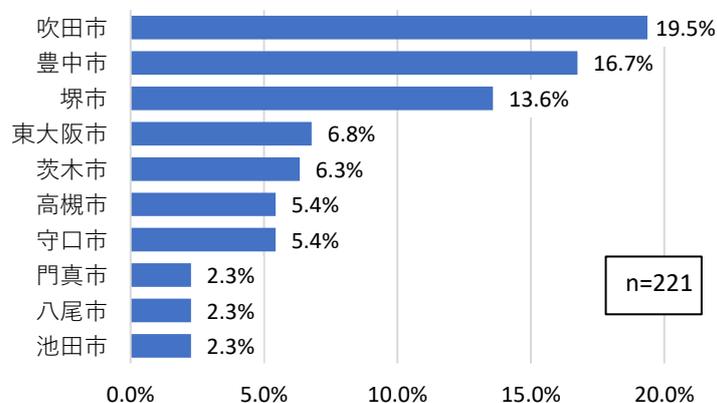


注：複数回答可

※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

### ② 「大阪府内の市町村（大阪市以外）」の詳細

居住を検討した地域における「大阪府内の市町村（大阪市以外）」の内訳（上位10市）をみると、吹田市が19.5%と最も高く、次いで「豊中市」が16.7%となっている。



注：複数回答可

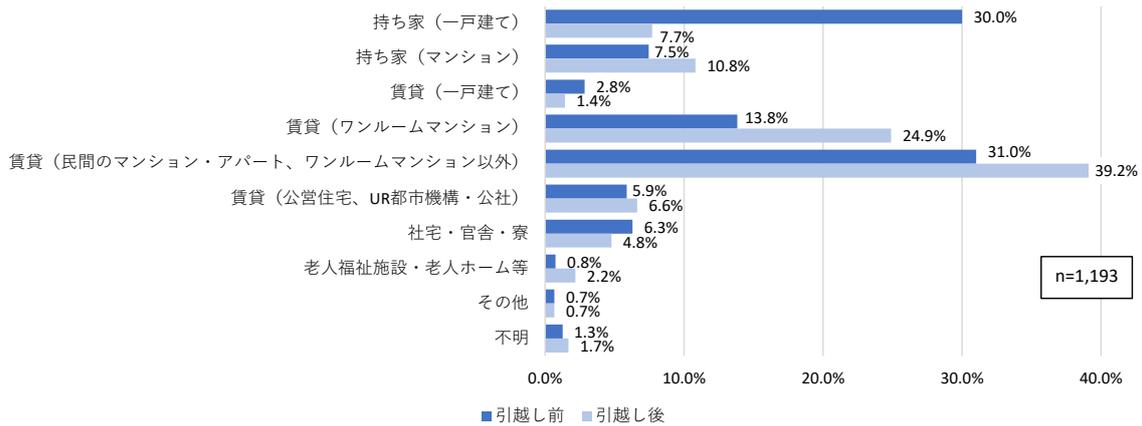
※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

## (6) 住宅の種類

引越し前後の住宅の種類をみると、引越し前後ともに「賃貸（民間のマンション・アパート、ワンルームマンション以外）」が最も高くなっている。

引越し前後の住宅の種類の変化をみると、引越し前に持ち家に住んでいた人の約6割が引越し後は賃貸マンションに住む等、全体的に賃貸マンションに住む傾向にある。

引越し後の住宅の種類を引越しのきっかけ別にみると、「仕事の都合」「結婚・同棲」をきっかけに転入した人の約7割が賃貸マンションに住む傾向にある。



住宅の種類（引越し前）

		第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)			第9回調査 (令和5年度)
持家		825	1159	総数		1193
	一戸建	33.3%	30.1%	持ち家（一戸建て）		30.0%
	長屋建	0.7%	0.4%	持ち家（マンション）		7.5%
	共同住宅（一般のマンション）	6.8%	8.3%	賃貸（一戸建て）		2.8%
	共同住宅（ワンルームタイプ）	0.2%	0.2%	賃貸（ワンルームマンション）		13.8%
借家		3.3%	2.9%	賃貸（民間のマンション・アパート、 ワンルームマンション以外）		31.0%
	一戸建	1.1%	0.9%	賃貸（公営住宅、UR都市機構・公社）		5.9%
	ワンルームタイプの民間マンション (3階建以上)	8.8%	8.8%	社宅・官舎・寮		6.3%
	民間の文化住宅・アパート（1～2階建）	9.0%	9.3%	老人福祉施設・老人ホーム等		0.8%
	一般の民間マンション（3階建以上）	20.7%	25.1%	その他		0.7%
	都市機構（旧公団）・公社の住宅	2.5%	2.3%	不明		1.3%
	公営住宅	2.9%	1.8%			
	社宅・官舎・寮	7.6%	7.4%			
	老人福祉施設・有料老人ホーム ・高齢者向け住宅等	0.6%	0.2%			
	その他（間借り・下宿・住み込みなど）	0.4%	0.3%			
	不明	1.9%	2.0%			

住宅の種類（引越し後）

		第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)			第9回調査 (令和5年度)
持家		825	1159	総数		1193
	一戸建	6.7%	4.6%	持ち家（一戸建て）		7.7%
	長屋建	1.2%	0.3%	持ち家（マンション）		10.8%
	共同住宅（一般のマンション）	14.8%	12.5%	賃貸（一戸建て）		1.4%
	共同住宅（ワンルームタイプ）	0.6%	0.5%	賃貸（ワンルームマンション）		24.9%
借家		1.5%	1.2%	賃貸（民間のマンション・アパート、 ワンルームマンション以外）		39.2%
	一戸建	0.7%	0.5%	賃貸（公営住宅、UR都市機構・公社）		6.6%
	ワンルームタイプの民間マンション (3階建以上)	17.1%	18.6%	社宅・官舎・寮		4.8%
	民間の文化住宅・アパート（1～2階建）	2.4%	4.1%	老人福祉施設・老人ホーム等		2.2%
	一般の民間マンション（3階建以上）	40.2%	45.3%	その他		0.7%
	都市機構（旧公団）・公社の住宅	3.2%	3.7%	不明		1.7%
	公営住宅	1.2%	0.3%			
	社宅・官舎・寮	5.9%	4.4%			
	老人福祉施設・有料老人ホーム ・高齢者向け住宅等	2.1%	1.1%			
	その他（間借り・下宿・住み込みなど）	0.5%	0.8%			
	不明	1.9%	2.0%			

## 引越し前後の住宅の種類の変化

左：人  
右：%

	引越し前の住宅の種類																				
	持ち家 (一戸建て)		持ち家 (マンション)		賃貸 (一戸建て)		賃貸(ワンル ームマンション)		賃貸(民間のマン ション・アパート、 ワンルームマンシ ョン以外)		賃貸(公営住 宅、UR都市機 構・公社)		社宅・官舎・寮		老人福祉施設・ 老人ホーム等		その他		不明		
引越し 後の 住宅 の 種 類	総数	358	100.0%	89	100.0%	34	100.0%	165	100.0%	370	100.0%	70	100.0%	75	100.0%	9	100.0%	8	100.0%	15	100.0%
	持ち家(一戸建て)	21	5.9%	8	9.0%	5	14.7%	9	5.5%	35	9.5%	5	7.1%	9	12.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	持ち家(マンション)	47	13.1%	16	18.0%	2	5.9%	12	7.3%	39	10.5%	5	7.1%	7	9.3%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%
	賃貸(一戸建て)	3	0.8%	0	0.0%	6	17.6%	0	0.0%	5	1.4%	2	2.9%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	賃貸(ワンルームマンション)	<b>124</b>	<b>34.6%</b>	<b>25</b>	<b>28.1%</b>	7	20.6%	<b>91</b>	<b>55.2%</b>	23	6.2%	12	17.1%	13	17.3%	0	0.0%	1	12.5%	1	6.7%
	賃貸(民間のマンション・アパート、 ワンルームマンション以外)	<b>112</b>	<b>31.3%</b>	<b>29</b>	<b>32.6%</b>	10	29.4%	<b>42</b>	<b>25.5%</b>	<b>238</b>	<b>64.3%</b>	10	14.3%	22	29.3%	1	11.1%	4	50.0%	0	0.0%
	賃貸(公営住宅、UR都市機 構・公社)	20	5.6%	5	5.6%	3	8.8%	3	1.8%	16	4.3%	30	42.9%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	社宅・官舎・寮	17	4.7%	5	5.6%	1	2.9%	6	3.6%	7	1.9%	1	1.4%	20	26.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	老人福祉施設・老人ホーム等	11	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%	5	7.1%	1	1.3%	6	66.7%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	2	0.6%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.6%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
不明	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	14	93.3%	

n=1, 193

## 引越し後の住宅の種類 (引越しのきっかけ別)

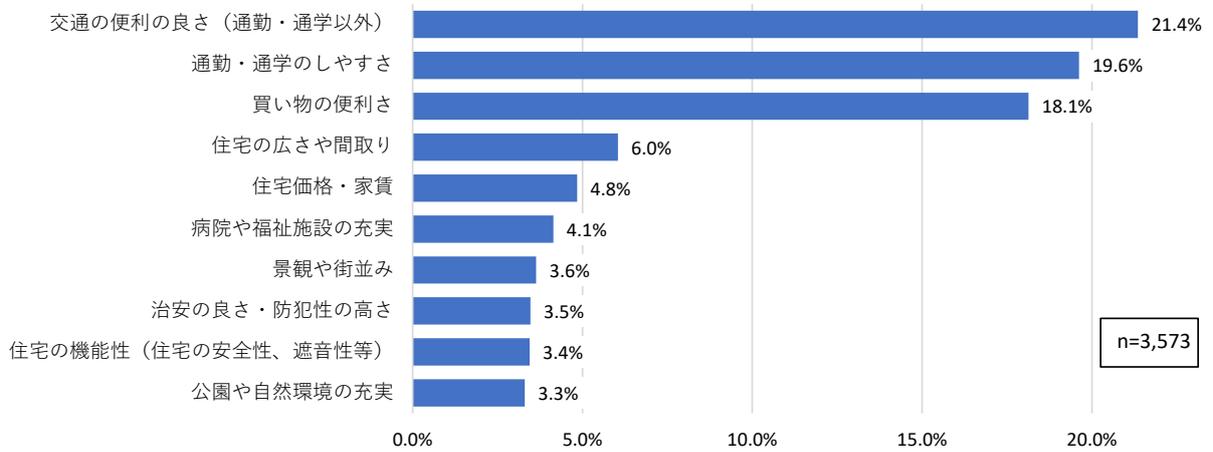
左：人  
右：%

	引越しのきっかけ																						
	仕事の都合		住宅事情		生活環境の改善 (買物の利便性 等)		結婚・同棲		親族との同居・ 近隣への居住		同居家族からの 独立		入学		高齢者向け施設・ 住宅への入居		離婚		その他		不明		
引越し 後の 住宅 の 種 類	総数	585	100.0%	80	100.0%	66	100.0%	190	100.0%	87	100.0%	49	100.0%	41	100.0%	33	100.0%	27	100.0%	24	100.0%	11	100.0%
	持ち家(一戸建て)	27	4.6%	16	20.0%	3	4.5%	6	3.2%	25	28.7%	0	0.0%	6	14.6%	1	3.0%	7	25.9%	0	0.0%	1	9.1%
	持ち家(マンション)	29	5.0%	25	31.3%	15	22.7%	18	9.5%	25	28.7%	5	10.2%	3	7.3%	0	0.0%	7	25.9%	1	4.2%	1	9.1%
	賃貸(一戸建て)	6	1.0%	1	1.3%	3	4.5%	2	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	2	4.9%	0	0.0%	1	3.7%	1	4.2%	0	0.0%
	賃貸(ワンルームマンション)	<b>195</b>	<b>33.3%</b>	9	11.3%	12	18.2%	22	11.6%	4	4.6%	26	53.1%	17	41.5%	0	0.0%	5	18.5%	5	20.8%	2	18.2%
	賃貸(民間のマンション・アパート、 ワンルームマンション以外)	<b>244</b>	<b>41.7%</b>	17	21.3%	21	31.8%	<b>124</b>	<b>65.3%</b>	17	19.5%	15	30.6%	10	24.4%	2	6.1%	4	14.8%	10	41.7%	4	36.4%
	賃貸(公営住宅、UR都市機 構・公社)	30	5.1%	8	10.0%	7	10.6%	13	6.8%	12	13.8%	2	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%	3	12.5%	1	9.1%
	社宅・官舎・寮	47	8.0%	2	2.5%	1	1.5%	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	老人福祉施設・老人ホーム等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	26	78.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	3	0.5%	1	1.3%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%
不明	4	0.7%	1	1.3%	3	4.5%	2	1.1%	3	3.4%	1	2.0%	0	0.0%	3	9.1%	0	0.0%	1	4.2%	2	18.2%	

n=1, 193

### (7) 大阪市での生活の満足な点

大阪市での生活の満足な点（上位 10 項目）をみると、「交通の便利の良さ（通勤・通学以外）」「通勤・通学のしやすさ」「買い物の便利さ」が他の項目と比較して高くなっており、全体の約 6 割を占めている。

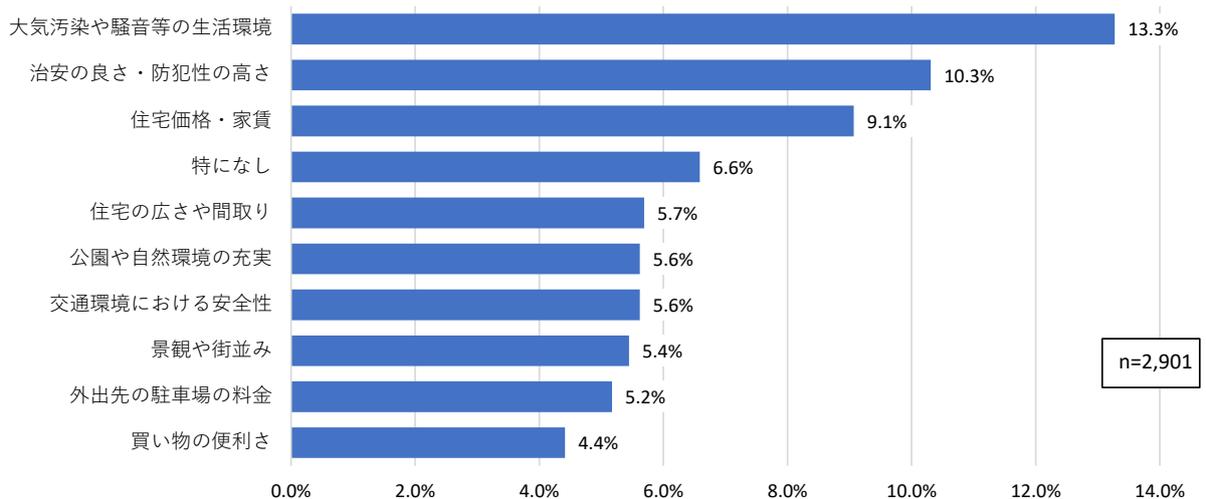


注：複数回答可

※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

### (8) 大阪市の生活の不満な点

大阪市での生活の不満な点（上位 10 項目）をみると、「大気汚染や騒音等の生活環境」「治安の良さ・防犯性の高さ」「住宅価格・家賃」が他の項目と比較して高くなっており、全体の約 3 割を占めている。



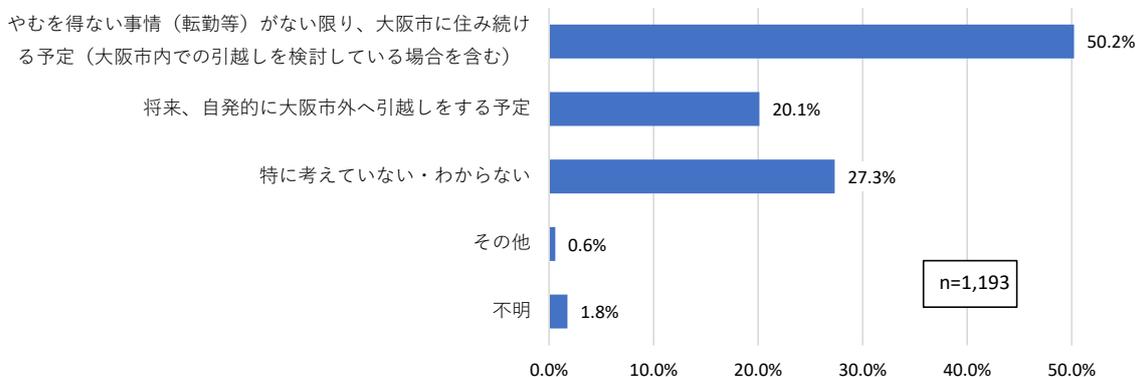
注：複数回答可

※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

## (9) 居住継続の意向

### ①-1 居住継続の意向

大阪市での居住継続の意向は、「やむを得ない事情（転勤等）がない限り、大阪市内に住み続ける予定（大阪市内での引越しを検討している場合を含む）」が50.2%と最も高く、次いで「特に考えていない・わからない」が27.3%となっている。



	第7回調査 (平成25年度)	第8回調査 (平成30年度)
総数	825	1159
今後とも住み続ける	29.9%	28.9%
より質の高い住宅に住み替える	14.5%	16.5%
自然環境のよいところに住み替える	5.2%	4.8%
通勤・通学に便利なおところに住み替える	4.5%	6.4%
買い物など日常生活に便利なおところに住み替える	1.1%	1.8%
親や子どもと同居またはその近くに住み替える	4.2%	3.8%
わからない	25.8%	29.2%
その他	9.5%	5.9%
不明	5.2%	2.8%

	第9回調査 (令和5年度)
総数	1193
やむを得ない事情（転勤等）がない限り、大阪市内に住み続ける予定（大阪市内での引越しを検討している場合を含む）	50.2%
将来、自発的に大阪市外へ引越しをする予定	20.1%
特に考えていない・わからない	27.3%
その他	0.6%
不明	1.8%

①-2 居住継続の意向（年齢（5歳階級）別）

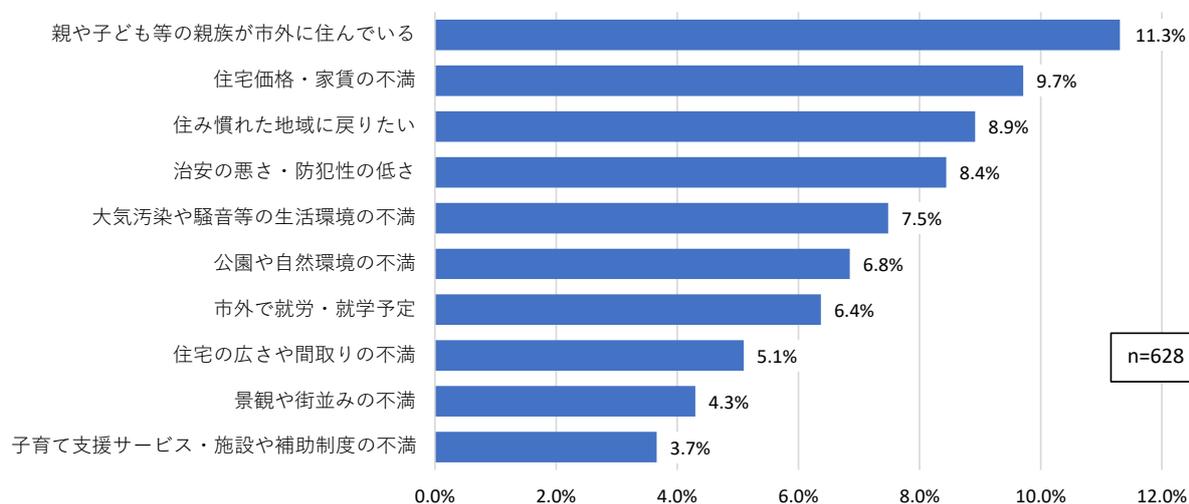
大阪市での居住継続の意向を年齢（5歳階級）別にみると、20歳以上の全ての年齢階級において「やむを得ない事情（転勤等）がない限り、大阪市内に住み続ける予定」が最も高くなっている。

	総数	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	不明
総数	1193	33	213	278	156	108	69	62	63	55	36	25	16	76	3
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
やむを得ない事情（転勤等）がない限り、大阪市内に住み続ける予定（大阪市内での引越しを検討している場合を含む）	<b>599</b>	10	<b>101</b>	<b>130</b>	<b>77</b>	<b>54</b>	<b>39</b>	<b>36</b>	<b>25</b>	<b>33</b>	<b>20</b>	<b>18</b>	<b>8</b>	<b>47</b>	1
	<b>50.2%</b>	30.3%	<b>47.4%</b>	<b>46.8%</b>	<b>49.4%</b>	<b>50.0%</b>	<b>56.5%</b>	<b>58.1%</b>	<b>39.7%</b>	<b>60.0%</b>	<b>55.6%</b>	<b>72.0%</b>	<b>50.0%</b>	<b>61.8%</b>	33.3%
将来、自発的に大阪市内へ引越しをする予定	240	7	44	71	42	16	8	10	16	9	7	3	1	5	1
	20.1%	21.2%	20.7%	25.5%	26.9%	14.8%	11.6%	16.1%	25.4%	16.4%	19.4%	12.0%	6.3%	6.6%	33.3%
特に考えていない・わからない	326	15	66	74	37	35	21	15	20	12	7	4	5	14	1
	27.3%	45.5%	31.0%	26.6%	23.7%	32.4%	30.4%	24.2%	31.7%	21.8%	19.4%	16.0%	31.3%	18.4%	33.3%
その他	7	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	0.6%	0.0%	0.5%	0.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
不明	21	1	1	1	0	2	1	1	2	0	2	0	2	8	0
	1.8%	3.0%	0.5%	0.4%	0.0%	1.9%	1.4%	1.6%	3.2%	0.0%	5.6%	0.0%	12.5%	10.5%	0.0%

上段：人

② 「将来、自発的に大阪市内へ引越しをする予定」の詳細

居住継続の意向で「将来、自発的に大阪市内へ引越しをする予定」と回答した人の大阪市内への引越しを予定している理由（上位10項目）をみると、「親や子ども等の親族が市外に住んでいる」が11.3%と最も高く、次いで「住宅価格・家賃の不満」が9.7%となっている。



注：複数回答可

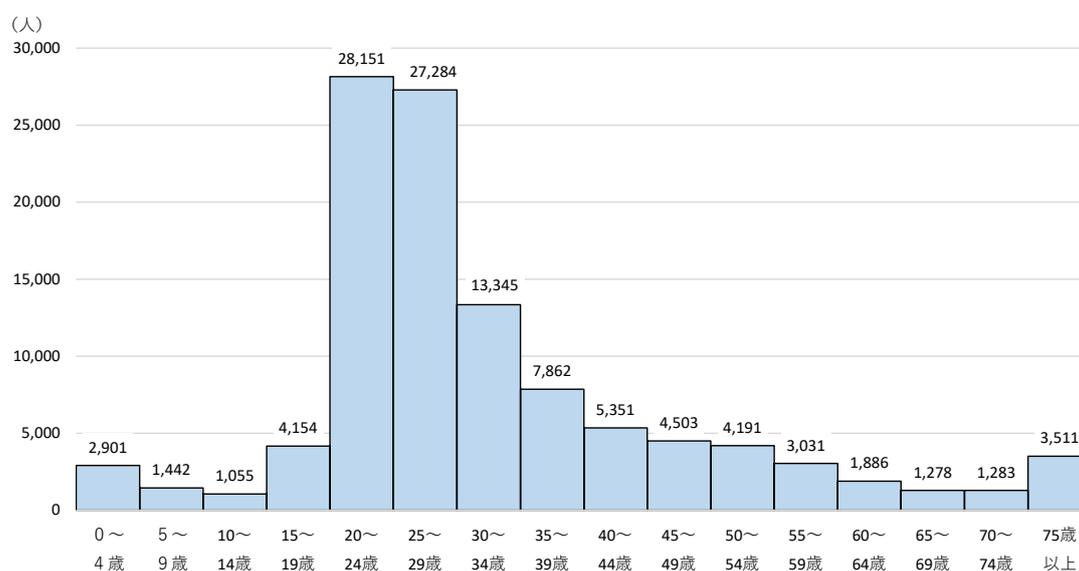
※今回の調査から新たに設定した調査項目のため、過去の調査結果との比較はなし

## 【トピック】20代の転入状況について

令和5年度における大阪市への転入者数（日本人）を年齢（5歳階級）別にみると、転入者総数（日本人）が111,228人であるところ、「20～24歳」は28,151人、「25～29歳」は27,284人と、20代が全体の約50%を占めている。

令和5年度における年齢（5歳階級）別転入者数（日本人）・構成比

	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入者数（人） （日本人）	111,228	2,901	1,442	1,055	4,154	28,151	27,284	13,345	7,862	5,351	4,503	4,191	3,031	1,886	1,278	1,283	3,511
構成比	100.0%	2.6%	1.3%	0.9%	3.7%	25.3%	24.5%	12.0%	7.1%	4.8%	4.0%	3.8%	2.7%	1.7%	1.1%	1.2%	3.2%



そこで、20代の転入者について、今回の調査における状況を以下でみていきたい。

まず、20代の引越し前後の家族構成の変化をみると、引越し前の「単身」「親子（2世代）」「親・子・孫（3世代）」「その他」の半数以上は引越し後に「単身」となっている。

### 引越し前後の家族構成の変化（20代）

左：人  
右：%

		引越し前の家族構成											
		単身		夫婦のみ (事実婚・同性 パートナー含む)		親子 (2世代)		親・子・孫 (3世代)		その他		不明	
引 越 し 後 の 家 族 構 成	総数	232	100.0%	49	100.0%	175	100.0%	21	100.0%	13	100.0%	1	100.0%
	単身	156	67.2%	4	8.2%	110	62.9%	13	61.9%	10	76.9%	0	0.0%
	夫婦のみ（事実婚・同性 パートナー含む）	37	15.9%	42	85.7%	36	20.6%	4	19.0%	1	7.7%	0	0.0%
	親子（2世代）	16	6.9%	2	4.1%	15	8.6%	1	4.8%	1	7.7%	0	0.0%
	親・子・孫（3世代）	2	0.9%	0	0.0%	2	1.1%	2	9.5%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	19	8.2%	0	0.0%	11	6.3%	1	4.8%	1	7.7%	0	0.0%
	不明	2	0.9%	1	2.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%

n=491

次に、20代の引越し前後の住宅の種類の変化をみると、引越し前に持ち家に住んでいた人の約8割が引越し後は賃貸マンションに住む等、全体的に賃貸マンションに住む傾向にある。

### 引越し前後の住宅の種類の変化（20代）

左：人  
右：%

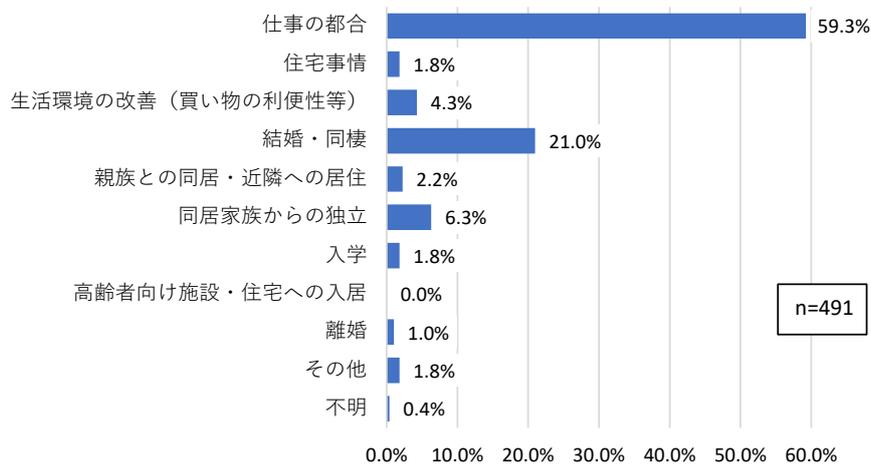
		引越し前の住宅の種類																			
		持ち家(一戸建て)		持ち家(マンション)		賃貸(一戸建て)		賃貸(ワンルームマンション)		賃貸(民間のマンション・アパート、ワンルームマンション以外)		賃貸(公営住宅、UR都市機構・公社)		社宅・官舎・寮		老人福祉施設・老人ホーム等		その他		不明	
引 越 し 後 の 住 宅 の 種 類	総数	174	100.0%	34	100.0%	10	100.0%	80	100.0%	136	100.0%	16	100.0%	34	100.0%	0	0.0%	4	0.0%	3	100.0%
	持ち家（一戸建て）	5	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	5	3.7%	0	0.0%	7	20.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	持ち家（マンション）	6	3.4%	1	2.9%	0	0.0%	3	3.8%	7	5.1%	1	6.3%	4	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	賃貸（一戸建て）	1	0.6%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	賃貸(ワンルームマンション)	84	48.3%	21	61.8%	3	30.0%	51	63.8%	9	6.6%	5	31.3%	6	17.6%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
	賃貸(民間のマンション・アパート、 ワンルームマンション以外)	59	33.9%	10	29.4%	4	40.0%	16	20.0%	106	77.9%	2	12.5%	7	20.6%	0	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
	賃貸(公営住宅、UR都市機構・公社)	7	4.0%	0	0.0%	2	20.0%	2	2.5%	3	2.2%	7	43.8%	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	社宅・官舎・寮	11	6.3%	2	5.9%	0	0.0%	5	6.3%	3	2.2%	1	6.3%	8	23.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	老人福祉施設・老人ホーム等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
不明	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	

n=491

そして、20代の引越しのきっかけをみると、「仕事の都合」が59.3%と最も高く、次いで「結婚・同棲」が21.0%となっている。

上記（3）①で述べた全世代の結果と比較すると、20代は全世代よりも「仕事の都合」が10.3ポイント高く、「結婚・同棲」が5.1ポイント高く、「住宅事情」が4.9ポイント低くなっている。

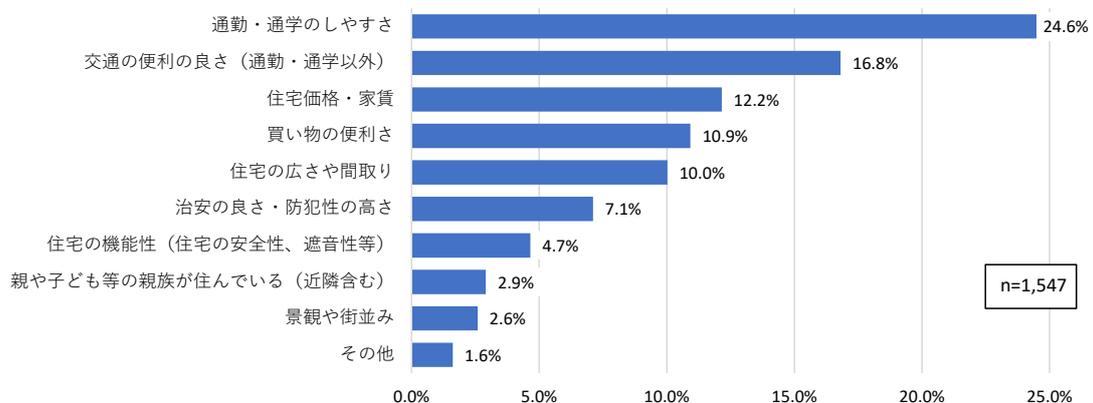
引越しのきっかけ（20代）



最後に、20代の引越し先を選んだ決め手となった条件（上位10項目）をみると、「通勤・通学のしやすさ」が24.6%と最も高く、次いで「交通の便利の良さ（通勤・通学以外）」が16.8%となっている。

上記（4）①で述べた全世代の結果と比較すると、3位以下の順序は異なるものの、概ね同じような結果となっている。

引越し先を選んだ決め手となった条件（20代）



注：複数回答可